

13  
2946  
215





特  
2946  
215

叙

百年の経典余師の。嘘百年と経く傾傳ヨシと  
 点首あり。洒落子似く滑稽者かゝる。ふんて見く言  
 大過ある。意を来と見口たか薄純形。聖書と復存  
 存といふ。因て元洛を操ると。通釋共乎音訓せば  
 是下す。たる。成る如し。又阿万受成の。と。通不  
 通。其。果。河。案。を。類。子。世界。大。悟。道。彼。唐。人の  
 狂。貴。家。天。竺。乃。延。延。紅。毛。の。朝。難。の。正。外。引。引  
 外。引。能。食。容。此。放。屁。学。を。け。く。こ。な。ハ。ナ。ソ。レ。言。質  
 かん。健。保。此。真。中。と。爾。云



享和二成ノ新板

式亭三馬題





















夫廟者始於遺金

中於遺音氣終於

泉身

あられとらんくつら  
おのれとあいの  
金とあいの  
はるさわひく  
わらさりのふ  
アキラけんあめを  
ぬいぢやめつら  
うんと申して  
らんがら  
よるさけり  
うさのさ  
あはれ  
さうんや  
あはれ  
あはれ



あはれとらんくつら  
おのれとあいの  
金とあいの  
はるさわひく  
わらさりのふ  
アキラけんあめを  
ぬいぢやめつら  
うんと申して  
らんがら  
よるさけり  
うさのさ  
あはれ  
さうんや  
あはれ  
あはれ

あはれとらんくつら  
おのれとあいの  
金とあいの  
はるさわひく  
わらさりのふ  
アキラけんあめを  
ぬいぢやめつら  
うんと申して  
らんがら  
よるさけり  
うさのさ  
あはれ  
さうんや  
あはれ  
あはれ





























+

o

Handwritten text on the right edge of the right page, possibly a page number or a small note.





見得得後  
遺強  
音



おはようございませ  
おはようございませ  
おはようございませ



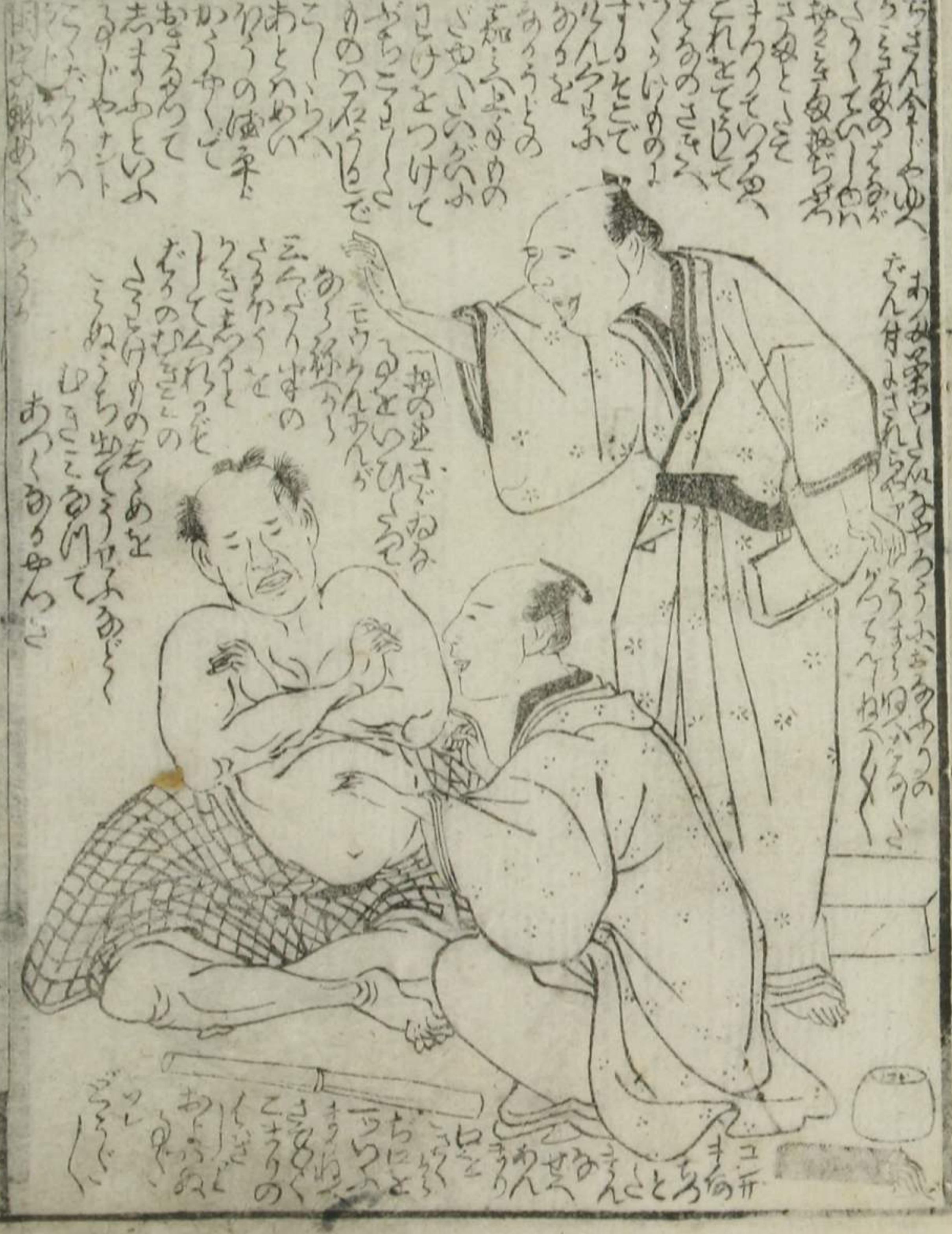
天美婦故亭主則安  
感漢余則氣



大槪  
上手更  
不起故名法以膏膏  
納唱嗒如此  
これぞうと云ふは  
それぞうと云ふは  
うのうひつ

てんちのこころ  
あつたまはせハ

おのれ  
おのれ  
おのれ



あつたまはせハ  
あつたまはせハ  
あつたまはせハ

あつたまはせハ  
あつたまはせハ  
あつたまはせハ







爲之歡樂  
いふもてれきんて  
せんよりんてり

揚之  
意目以

陳其子  
妓而哀

見之

あはれやしうまそ  
むしこのうん  
らくがーすまろと  
あまらう  
つらて  
あそふ  
あふふあそんで  
さかしくあだんそり  
てんがこをおげり



あふふあそんで  
さかしくあだんそり  
てんがこをおげり

あふふあそんで  
さかしくあだんそり  
てんがこをおげり



あふふあそんで  
さかしくあだんそり  
てんがこをおげり

あふふあそんで  
さかしくあだんそり  
てんがこをおげり











